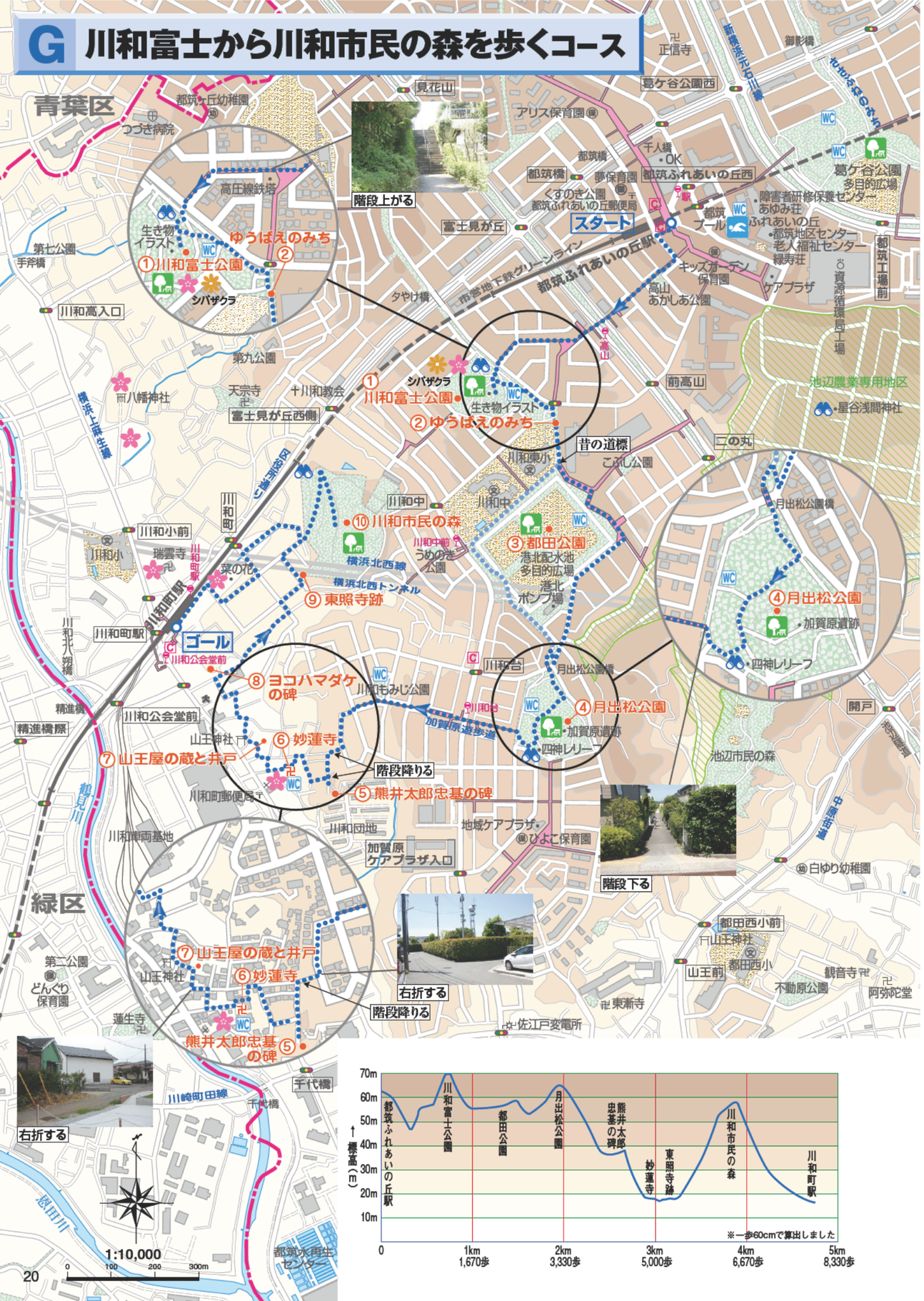
G 川和富士から川和市民の森を歩くコース



① 川和富士公園

元は川和高校寄りの地点にあったが、港北ニュータウンの建設のため、現在の場所に再現された。標高は74mで都筑区で一番高い。よく晴れていれば富士山、ベイブリッジ、ランドマークタワーなどが見える。

② ゆうばえのみち

都筑の公園を結ぶ緑道のなかで、最も南西に位置するのが「ゆうばえのみち」だ。「ゆうばえのみち」は鴨池公園から、大丸、見花山などの住宅地を通り、加賀原の月出松公園に至る。途中の川和東小学校の前に自然石の道標が立っている。「みぎさえど、ひだりかわわ」と読める。

③ 都田公園

都筑区には水道局の牛久保配水池と港北配水池があり、港北配水池の上が、都田公園になっている。公園には野外球技施設があり、軟式野球、ソフトボール、サッカーなどを楽しむことができ、市民に利用されている。

④ 月出松公園

縄文中期の竪穴式住居跡や土器が発掘された加賀原遺跡の上に整備された公園で緑藍が多い。川和富士公園、都田公園とは、ゆうばえのみちで続いている。昔「みかづき松」と呼ばれる松があったといわれ、四神のレリーフがある。

⑤ 熊井太郎忠基の碑

熊井太郎忠基は、平家物語や源平盛衰記によれば、一の谷の合戦などに活躍し、その後も義経の奥州落ちに従った武士の一人だといわれている。妙蓮寺最上段の奥に、「城根山妙蓮寺発祥の地」という大きな石碑があり、忠基の館があったといわれている。

⑥ 妙蓮寺

区内唯一の日蓮宗寺院。本尊は久遠実成本師釈迦牟尼仏。開創年は康永3年(1344)。元文年間(1736～1741)にすべてが焼失したが、本堂は寛政5年(1793)に再建された。境内に古木が多く、春の桜、秋の銀杏の黄葉は見事。

⑦ 山王屋の蔵と井戸

旧都筑郡の中心地であった川和町には、郡役所、警察署、法務局、郵便局、旅館(3軒)、米屋、八百屋、魚屋、菓子屋、酒屋などが並び大いに賑わった。山王屋は酒・味噌・醤油・油を販売していた商店で、当時の蔵と井戸が残っている。

⑧ ヨコハマダケの碑

横浜市には、約4000種の植物が自生しているが、数少ない「横浜」の名がついた植物である。このヨコハマダケは、都筑郡川和町出身の松野重太郎により発見され、旧松野家跡に英語と日本語の学名を刻んだ碑がある。38ページ参照。

⑨ 東照寺跡

明治12年(1879)3月7日、川和の中村にあった禅寺の東照寺跡で、川和村の医師足立龔平、甚田藤作ら十数名により7科の講座を設けた医学講習所が開かれ、明治14年(1881)に卒業生を出した。

⑩ 川和市民の森

市営地下鉄グリーンライン川和町駅から徒歩5分のところに位置し、平成26年4月に開園した区内第1号の市民の森。里山林と富士山の眺望を楽しめる魅力あるスポットとして、区民の憩いの場となっている。

月出松公園の四神と川和富士公園の生き物のイラスト

うさぎのレリーフ

白虎のレリーフ

月出松公園では、広場の地面中央のうさぎのレリーフを中心として、それを囲むように中国の神話で、天の四方を司る霊獣である四神(青竜、朱雀、白虎、玄武)の4枚のレリーフが配置されている。

チョウ

トンボ

川和富士公園の富士塚の壁には、階段に沿って虫などの生き物のイラストが描かれている。来園者に楽しんでもらうために、富士塚を整備する際に描かれた。頂上までどんな生き物がいるか探してみてはいかが?